

# 児童虐待撲滅へPTT

## 法務省設置 来年初めに提言

河井克行法相(広島3区)は4日の記者会見で、児童虐待の撲滅に向け法務省内にプロジェクトチーム(PT)を同日設置したと発表した。全部局の課長たちを集めた会合を来週から週1回程度開いて対策を協議。専門家への聞き取りや関係機関の視察も進め、来年初めに提言をまとめる。

河井氏が「児童虐待とたたかう法務省プロジェクトチーム」と命名し、大臣官房と民事、刑事、人権擁護矯正など6局の課長級以上の職員計10人を配置。座長には西山卓爾・政策立案総括審議官が就いた。

同省では、子どもが抱える問題の早期発見のため

に、「子どもの人権110番」での電話相談や「SO Sミニレター」という手紙による相談に各地の法務局が応じている。PTはこれまでの施策を検証して課題を洗い出すと同時に、有識者や関係省庁からの聞き取りも進める。視察先については児童相談所を含め幅広く検討するという。

子どもが虐待を受けにくくなる事件が相次ぐ中、9月の内閣改造で法相に就いた河井氏は、省内の全部局が参加する検討会議の発足を指示。4日の会見では「政府全体や関係省庁の施策に資するよう、柔軟な発想で幅広く検討を進めたい」と述べた。

(境信重)